

「人材育成フォーラム」29人参加

情報の共有深めた 採用など2つの講演

会員企業の人事担当者のための「人材育成フォーラム」が6月10日、日遊協本部会議室で開かれ、24社から29人が参加した。

フォーラムの目的は、①人材育成について他企業の取り組み・視点・考え方・悩みなどを共有し、今後の業界を担う人材の育成に必要な施策、方向性を一緒に考えていく ②人事制度、施策についても意見交換し、実務担当者レベルで「実」のある情報共有の場とする ③人事担当者同士で人脈を広げる——などとなっている。

冒頭、深谷日遊協会長が「人材

育成とは人を育てることだとも思っても知れないが、自分を育てる意味だと思う。先ず皆さん自らが輝いて、自分の目標を設定して、成功に向けて人生を推し進めていくことが大事だ」とあいさつした。

横のつながりを密に

約30分間、全員で名刺交換が行われた後、知念日遊協明日の産業創造室長が「皆さんの会社のオーナーや幹部が参加している日遊協とはどんな活動をしているのかをよく見てもらって、できれば上申して委員会にオブザーバーとして参加し、われわれを助けてほしい。

横のつながりが密になって情報交換ができ、それが個社の人材育成にもいい影響を与えるだろう」と述べた。日遊協の活動について遊技産業マネジメント・カレッジ、管理者養成講座、合同就職説明会の3点に絞っての説明があった。

(株)リクルート「リクナビ」編集長、岡崎仁美氏が「昨今の就職採用の

最初の30分間、名刺交換が行われた



傾向と対策」と題して、①2012年卒採用の動向 ②2013年卒採用の展望③「入社後活躍」のポイント——の3点について講演した。次いで、(株)エンタテインメントビジネス総研、近藤博寿副主任研究員が「助成金を活用して人材育成を充実させる」と題して講演し、中安金(中小企業緊急安定助成金)の活用を提案した。

最後に5グループに分かれて意見・情報交換を行ったあと、懇親会でさらに横のつながりを深めた。人材育成委員会ではフォーラムについて、単発に終わらせずに繰り返し開催していきたいとしている。

広報委員会

6月9日
本部会議室
出席委員等11人

次回の展開を討議

エッセー・絵手紙コンクール

エッセー・絵手紙コンクールについて、テーマ選び、募集開始時期、一般への告知方法など、第2回以

降の展開の仕方を話し合った。第1回では最優秀賞の受賞者2人が、6月9日の日遊協通常総会で表彰された。第1回の応募数はエッセーが663編(一般の部366編、業界の部297編)、絵手紙が533編だった。エッセーに限った応募数を見ると、過去9回続いた論文・作文コンクールでの応募数(第6回以降700編以上を維持)にやや劣るが依然高水準だったこと、初の試みの絵手紙に500編を超える応募があったことなどから、広報委員会の総意としては今後も続けたい旨を確認した。

入賞作品集を発刊

「第1回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクール」の入賞作品をまとめた作品集(編集・日遊協広報委員会)が6月9日、発刊された。エッセー、絵手紙とも最優秀賞1編、優秀賞2編、佳作10編

づつが収められている。B5判、39ページ。一部(絵手紙)カラー。頒価700円(本体666円)。希望者は、日遊協ホームページ「出版物の購入フォーム」からお申し込みください。

エッセー・絵手紙コンクール

活用しやすいICタグで協議

遊技機委員会(開発・健全化合同)

6月8日
本部会議室
出席委員等29人



2班に分かれて今後の事業を討議した遊技機委員会

遊技機開発、遊技機健全化の2委員会に分かれて今後の事業について協議した。当面、両委員会とともに協議を続け、秋口以降に再び合同で開き、実務上の共通部分の調整を行った上で具体的な複数の事業を進めて行くことになった。

遊技機開発の班は、2月の「ぼちんこ&パチスロフェスタ」の反省点なども踏まえ、ファン・業界・関

連省庁にアピールしていくための日遊協、業界団体としての開発提案について討議した。遊技機健全化の班は、日工組、日電協がセキュリティ強化の目的で運用しているICタグについて、ホールがもっと活用しやすく、不正対策を含めた通常業務も簡素化できるような新しいICタグの運用、仕様について議論した。この問題については、5月末のセキュリティ対策委員会で、ホールの点検確認の際にICタグがほとんど使われていない現状が指摘されていた。

流通制度委員会

6月13日
本部会議室
出席委員等16

規程の改正を協議

「取扱主任者」で2点

遊技機取扱主任者に関する規程の改正について協議した。改正する理由は、①違反行為が発生したとき、処分対象者が自主返納したり所在不明になったりすることで

処分逃れと新規取得が可能になってしまうこと ②東日本大震災で有効期間が切れてしまった遊技機取扱主任者証の取扱いに関して不備が生じたこと——の2点。

①に関連する第5条(講習及び試験の申請等)、第15条(遊技機取扱主任者の認定の取消し及び効力の停止)、②に関連する第10条(取扱主任者証の更新の特例)について、項目の新設や手直しを伴う事務局案が出され、それをたたき台に話し



規程の改正について協議した流通制度委員会

合った。流通制度委員会で改正案をまとめ、関係団体と協議後、中古機流通協議会に提案することになっている。

経営改革委員会

6月14日
本部会議室
出席委員等17人

基本方針を具体化へ

3チームそれぞれ討議

「消費税」「店外オンライン」「危機管理対策」の3プロジェクトチームに分かれて、それぞれの基本方針を検討した。基本方針は、消費税チームが ①設備変更(改造)の日遊協からの提案 ②外税方式・内税方式の検討 ③税率アップの告知方法、店外オンラインチームが ①風営法上の問題点 ②コンビニとの連携システム、危機管理対策チームは ①危機管理マニュアル(クレーマー対策、防犯・災害) ②労務管理上の危機管理——となっている。



エッセー・絵手紙コンクールの作品集

新しいICタグ方式模索

第53回セキュリティ対策委員会
(委員長・山田久雄日遊協副会長)

は6月23日、日遊協本部会議室で開かれ、セキュリティ強化のため日工組、日電協が導入しているICタグ封印シール・ICタグリーダーを用いたシステムと、全商協・回胴遊商が運用しているQRコードを用いた流通システムについて、関連4団体がそれぞれの概要を説明した。これは前回の委員会で、ICタグ方式の普及が遅れている

との指摘があったことを受けてのもの。

この日はホールの立場からも、新しいICタグの開発に関して、日遊協遊技機健全化委員会での協議内容の形で、日工組・日電協共通のタグとリーダーの採用、点検作業だけでなく店舗での他の業務も軽減できる機能余力を搭載したICタグ方式——などの意見・要望が出された。新しい考え方に沿ったICタグ方式を、ゴト対策4団体会議(全日遊連、日遊協、日工組、日電協)、セキュリティ対策委員会を中心に模索していくことになった。

中古機流通協議会

大震災で移動減少 新制度の改善点を協議

第73回中古機流通協議会は6月24日、全商協会議室で開かれた。4、5月の確認証紙(中古用)発給状況が報告された。パチンコの稼働実績は4月が5万4867件、10万7465台で、前年対比では件数

が85%、台数が68%と低調だった。これは大震災のため東北遊商管轄の実績が前年対比で4割、東遊商管轄に限っても6割強と少なかったことが影響した。5月は4万8429件、10万348台で、前年対比で件数は105%と上回ったが台数は88%にとどまった。

パチスロの稼働実績は、4月が1万4567件、3万988台で、前年対比では件数で91%、台数で94%と、パチンコと同様、大震災の影響を受けた。5月は1万2931件、2万8209台で、前年対比は件数で108%、台数で107%だった。

昨年6月に運用開始し1年を経過した新・中古機流通制度について、改善点などを話し合った。

プロバがブース展開

被災者に23万円の浄財

広島市を中心にパチンコ、ゲームなどの娯楽施設を展開するプロバグループ(平本直樹社長)は6月11、12日、広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)で開かれた企業出展型イベント「アクティブライフ2011」(広島ホームテレビ主催)に参加し、「遊びで元気になる



「スウィートランド」で遊ぶ家族連れ

う！」をテーマにブースを展開した。

内容は、「脳トレ」テスト・クイズ・握力測定などによる「脳と体を使ったコミュニケーション」、音でタイムリングを合わせる「太鼓の達人」、クレートン機でお菓子をつかむ「スイートランド」、バスケット機、パチスロ機など5種類で、2日間家族連れ2020人が訪れて楽しんだ。入場料(1人100円)の形で東日本大震災被災者への義援金を集め、総額23万7510円の浄財を日本赤十字社に寄付した。

「アクティブライフ2011」全体の来場者は、2日間で9万5000人だった。



ICタグ方式の今後を協議したセキュリティ対策委員会

「パチンコは被災地に活力」 庄司支部長が強調

6月9日
KKRホテル東京
出席会員約100人

冒頭、庄司孝輝支部長は「東日

本大震災被災地へ東京都・関東支部としてもボランティア隊を派遣し、物資を送っている。これらの活動は長いスパンで行わなければならないと認識している。被災したホールはもちろんのこと、現地の市町村を支援して社会貢献、社会還元という形で進めていきたい。テレビなどで見られる最近の支援は、子どもを対象にしたイベント、スポーツ、芸能関係など、娯楽に関する催しが多い。娯楽は人を困難な状況から復活させる力になると強く感じている。現在、パチンコへのパッシングが見られるが、ホールのお客様を見ても、娯楽としてのパチンコが明日に向けての活力になっていると確信している。営業を真摯に続けていくことが、この業に携わる者の使命だと感じている」と挨拶した。

深谷会長の挨拶に続いて、警視庁保安課、及川浩志課長が「パチンコ営業の現況と健全化営業につい

て」と題する行政講話を行った。

及川課長は、不正改造の防止対策、賞品に関する規定の遵守（等価交換・買い取り行為禁止）、中古機移動に関わる適正な運用、節電と防犯対策について述べた。

健康上の理由で辞任した鈴木康司副支部長(株)SANKYO)の後任に、安達賢二氏(同)を委嘱した。安達副支部長の任期は前任者の残り期間(約1年)となる。



支部総会で挨拶する庄司支部長

支部の活動実績が報告された後、本部8委員会の活動報告と今後の事業計画の説明があった。

汗だくで下草刈り「共生の森」に40人参加

4年目を迎えた「共生の森」(埼玉県嵐山町)の下草刈りが6月25日、

午前8時半から午後にかけて行

われた。社会貢献・環境対策委員会の森林サポータークラブ、シルバ1人材センターなどを含めて約40人が参加した。作業対象は1、2回目の植林地。昨年の3回目の植林地の下草は伸びていなかったため対象から外された。1、2回目の苗の周囲にはササなどの下草が30cmから2m近くも伸びていた。参加



下草刈りに出動した社会貢献・環境対策委員会ら日遊協メンバー

者たちは足場の悪い斜面で大鎌や草刈り機を使い、汗だくで作業に取り組んだ。

今年予算の大半を東日本大震災復興のためのボランティア派遣費用に向けることになり、過去3年間続けられた家族連れのイベント(植林、森の工作教室等)は行わず、6月と9月の2回の下草刈りだけが計画されている。

7月の行事予定

1日(金)	15:30~17:30	広報委員会
6日(水)	10:00~17:10	取扱主任者新規講習・試験(ホテルニューオータニ博多)
7日(木)	10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(同)
8日(金)	10:00~17:00	店長等講習・試験(博多・FFBホール)
	13:00~	九州支部「夏の電力不足対策説明会」(博多サンヒルズホテル)
12日(火)	13:00~15:00	流通制度委員会
	15:30~17:30	経営改革委員会
13日(水)	13:30~14:30	不正対策室会議
14日(木)	13:00~15:00	遊技機健全化委員会
	15:30~17:30	遊技機開発委員会
19日(火)	10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(ラ・ベルオーラム)
21日(木)	11:00~13:00	政策検討会議
	13:30~15:30	理事会
	16:30~	記者会見
22日(金)	16:00~17:30	人材育成委員会
25日(月)	10:00~17:10	取扱主任者新規講習・試験(都市センターホテル)
	17:00~	東北支部会(パレス平安)
26日(火)	10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(同)
27日(水)	10:00~17:00	店長等講習・試験(本部)
29日(金)	15:30~	東京都・関東支部役員会

総会シーズン続く

全国遊技機商業協同組合連合会

新会長に中村昌勇氏

全国遊技機商業協同組合連合会（全商協）は6月21日、東京・大手町のKKRホテル東京で通常総会を開いた。任期満了に伴う役員改選で、井上威夫会長の退任に伴い、後任の会長に中村昌勇（なかむら・よしお）東日本遊技機商業協同組合理事長が選任された。新年度の事業計画並びに収支予算などを承認した。



全商協総会で新会長に就任した中村昌勇氏

日本電動式遊技機工業協同組合

里見理事長を再任

4つの重点事業計画承認

日本電動式遊技機工業協同組合は6月14日、東京・千代田区の東京会館で通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で里見治理事長を再任した。再選された里見治理事長は総会後の懇親会で「東北のホールで、地域の人々がある意味ホールを通して繋がりを持たれているという話を聞き、私達の産業も一定の役割を果たしていると感心しました」と挨拶した。

また、平成23年度事業計画の重点項目として①遊技者に喜ばれ、かつ省電力となる遊技機の開発、②不正改造されにくい遊技機の開発、③遊技産業再生のための施策の推進、④ICタグ封印シールによる回胴式遊技機の適正な管理及び有効活用、の4項目を承認した。

全日本遊技事業協同組合連合会

「憩いの場」へ総会宣言

全日本遊技事業協同組合連合会（全日遊連）は6月30日、東京・新橋の第一ホテル東京で通常総会を開いた。平成22年度事業報告・収支決算を承認し、①震災復興に

向けた取り組みの推進 ②省エネ対策の強化 ③お客様第一主義の実践 ④高コスト体質からの脱却 ⑤遊技人口の回復促進 ⑥コンプライアンスの向上——の6項目を事業推進の基本とする23年度事業計画を決定した。最後に震災復興にあたって、「パチンコ・パチスロが国民の皆様の期待に応え、『ひとときの憩いの場』となるよう、組織の総力を挙げて取り組む」との趣旨の総会宣言を採択した。

プライベートシステム協会

新理事長に小堀豊氏

一般社団法人プライベートシステム協会（PSA）は5月24日、東京・千代田区のグランドアーク半蔵門で定時社員総会を開き、役員選任で大高時男氏の退任に伴う新理事長に小堀豊氏（日本ゲームカー

（株）特別顧問）を選任した。

遊技産業健全化推進機構

理事、監事全員を再任

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（河上和雄代表理事）は6月7日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで定時社員総会を開いた。第5期（10年4月1日～11年3月31日）事業年度の計算書類等を承認可決し、新年度事業計画及び予算を了承した。新年度は新たに計数機検査を開始し、遊技機検査でも悪質巧妙化する不正改造手口に対処するためレントゲン検査等を含めて行うことから、立入検査の目標店数を1800店舗に置いている。

任期満了となる役員選任で、理事10人、監事2人全員が再任された。

ASPOT

エンビズ総研、3月期指数を発表 業況改善もまだ厳しい 低迷する「パチンコ&4EJ」

（株）エンタテインメントビジネス総研は、東日本大震災が起きた3月期のパチンコ景気動向指数（DI）調査結果を発表した。全般的業況はマイナス28・8ポイントで、前回調査（10年12月）のマイナス51・7ポイントより改善し

たものの依然厳しい状況だった。3か月後の見通しもマイナス32・4ポイントと厳しい見方がされている。「悪い」と判断した理由は、「来店客数の減少」が圧倒的に多かった。

規模別に見ると、小規模（1～3店、

登録資格審査委員会

新規12、更新64承認

2業者について1年保留

遊技機販売業者に関する平成23年度第1回登録資格審査委員会（委員長・深谷友尋日遊協会長）は6月4日、日遊協本部会議室で開かれた。新規登録申請12業者（回胴遊商関係）を承認した。また、更新登録申請66業者のうち64業者（全商協関係29、回胴遊商関係33、日工組関係2）を承認した。

更新登録申請をした残りの2業者（回胴遊商関係）については、過去1年間の販売実績が300台を満たしていなかったため保留（今後1年間の実績を見守る）とした。

不正対策室会議

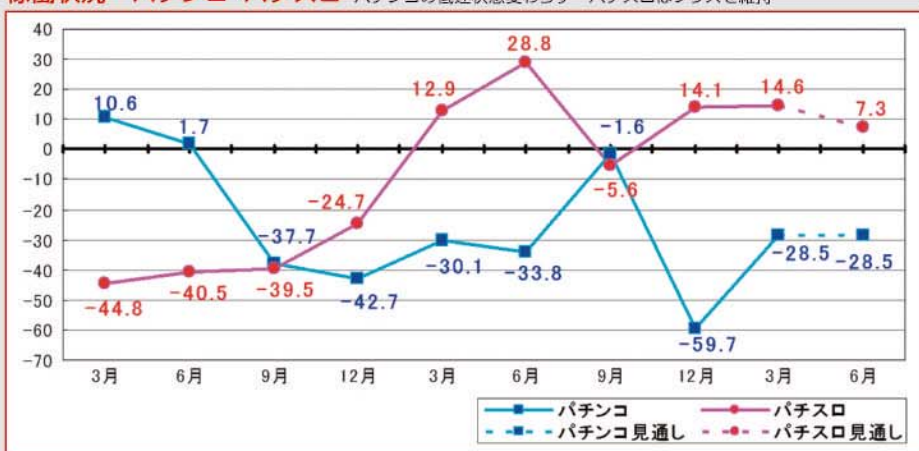
情報数は安定、微増

不正対策室会議（室長・伊東愼吾日遊協常務理事）は6月17日、日遊協本部会議室で開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況が報告され、ゴト、不正情報に関する討議が行われた。PSIOのオープンネット（業界、一般からの不正情報）への5月分入力は790件で昨年同月より46件増え、

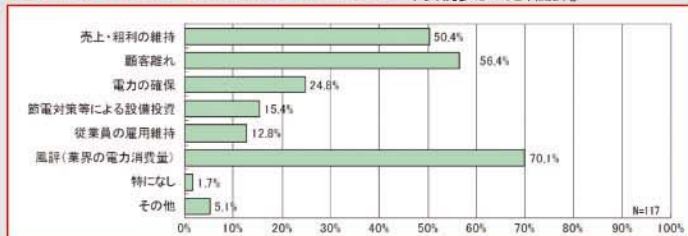
一般ファンの携帯、パソコンにも入力が増えた。情報入力は、年々安定してきている。

ゴトに関しては、エヴァンゲリオンに不正ハーネスを仕掛けるケースが報告、検討され、不正情報では業界、一般とも相変わらず多い遠隔操作を疑う入力について分析が行われた。

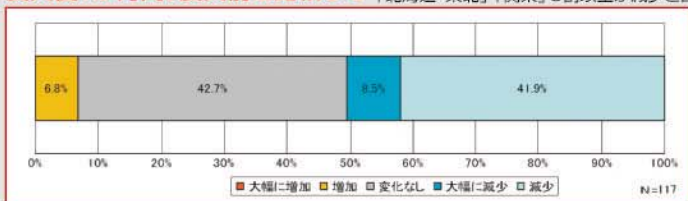
稼働状況 パチンコ・パチスロ パチンコの低迷状態変わらず パチスロはプラスを維持



震災の影響で不安に感じていること [全体]「規模別」不安視多かった「風評」



震災後1か月間、震災前と比較して「売上・粗利」「北海道・東北」「関東」6割以上が減少と回答



中規模（4〜10店）、大規模（11店以上）とも前より上昇したが、依然マイナス22〜36ポイントの圏内にとどまっている。地域別でも、マイナスイオン圏ではあるものの横ばいの中部・北陸以外は15ポイント以上改善した。しかし、3か月後の見通しでは北海道・東北が大きく落ち込んだ数値となっている。

稼働状況を見ると、パチンコはマイナス28・5ポイントで低迷を続けているが、パチスロは前回とほぼ同じ14・6ポイントとプラスを維持している。パチンコの「4円貸玉」と「低貸玉」については一昨年12月時点から取り上げているが、「4円貸玉」はマイナス56ポイントと調査開始以降一貫してマイナスイオン圏に低迷している。一方、「低貸玉」は調査開始以降プラスを続け、前回初めてマイナスイオン圏に落ちたが、今回は26・8ポイントと再びプラスに転じた。

震災ですべてが「減少」

東日本大震災の影響を聞いた。震災前と比較して、客足、売上・粗利ともに全体では5割が「減少した」と答えた。地域別に見ると、客足は関東で66・7%が「減少した」（うち「大幅に減少した」が12・8%）と答え、とくに目立った。その他の地域で「減少した」は、北海道・東北、中部・北陸、近畿はいずれも45%程度、中国・四国・九州は3割程度だった。売上・粗利では北海道・東北、関東で6割以上が「減少した」と答えた。反対に中国・四国・九州は客足、売上・粗利とも6割以上が「変化なし」と答えた。

7割強が「風評が不安」

震災の影響で不安に感じていることでは、「風評（業界の電力消費量）」が7割強と圧倒的に多く、次いで「売上・粗利の維持」「顧客離れ」各50%台「電力の確保」24・8%となっている。地域別に見ても「風評」の不安はすべての地域で6〜8割に達している。「電力の確保」は関東に限れば43・6%と高かった。今後力を入れたいことでは、「コスト削減」が76・1%と突出し、次いで「お客様の安全対策」「スタッフへの防災啓蒙」がそれぞれ5割強と高い数値だった。とくに「コスト削減」は東北・北海道では9割、関東では8割強に達した。

自由記述では次のような意見が見られた。「社会的な責任として、業界は業界全体でしっかり守ることができるルールを決め、それを確実に守っていくことが必要だ。バラバラな状況は残念でない」（関東・小規模業者）

中部支部セキュリティ対策部会 1BETゴトは下火へ

中部支部セキュリティ対策部会は5月31日、名古屋市・アイリス愛知で開かれ、山口悟支部長、足立利美部会長以下21人が参加した。足立部会長は「諸事情で委員が不足して来ているので、各関連にお願いして強化していきたい。大震災の後いろいろと忙しいが、この対策部会は爾々と進めて行きたい」と挨拶した。

3月まで多かった1BETボタンのゴトの報告が上がってきていないのは対策部品が出来たので落ち着いてきたのではないかと報告があったが、隠れているものも多々あるとの指摘もあった。ゴト師の技術レベルが高くなっているのに対し、対策として例えば大当たり直撃ゴトなど昨年の11月から最近までかかってしまふ。対策のスピードを早急に対応する必要があると話し合われた。

愛知県ゴト情報対策協議会 難しい持ち込み玉対策

愛知県ゴト情報対策協議会は6月7日、愛遊協役員室で開かれ、日遊協中部支部5人、愛遊協6人、岐阜県遊協と三重県遊協が2人ずつ計15人が参加した。大当たり直撃ゴト、1BETボタンなどの報告のあと討議が行われた。糸吊り玉ゴトに関して、被害が多いのでメーカーに対策を考えてほしい。手芸用の透明な玉を使用する事例があり、手口としては糸を操作し玉をワープの入り口付近に止め、玉を流れやすくする。持ち込み玉についての事例が多いが、

持ち込んだ玉を使用しているところを押さえないと逮捕までは難しい、などと話し合われた。

会員・業界消息

●代表者変更

▼インテックライフホールディングス株式会社
代表取締役社長・金澤正晃

●6月15日
▼株式会社まさむら遊機
代表取締役・山田道幸

●5月24日から
▼株式会社ミスホ
代表取締役・徳田一

●6月
▼株式会社
代表取締役・徳田一

●住所変更
▼株式会社 村上商事
〒024・0061
岩手県北上市大通り1丁目3・1
おでんせプラザぐるーぷ2F
TEL0197・61・5105
FAX0197・65・1551

●6月1日
▼チェックワールド株式会社
〒113・0033
東京都文京区本郷5・1・16
NPIビル9F
TEL03・5805・2678
FAX03・5805・2679

【訃報】原田八一氏（原田運送(株)代表取締役社長）6月6日午前2時37分死去。63歳。葬儀告別式は7月5日、浜松市中区のグランドホテル浜松で執り行われた。喪主は長男、篤志氏。

警察人事

熊本県警人事（3月11日）生活安全部長（警備部長）古川隆幸▽警備部長（生安部長）吉村郁也▽警務部理事官兼総務課長（理事官兼生安課長）赤星裕▽生活環境課長（菊池署長）甲斐利美

大分県警人事（3月14日）刑事部長（生安部長）尾花清文▽生活安全部長（学校長）小出重直▽生活安全部長（参事官兼生活安全企画課長（佐伯署長）今山敬久▽警務部付・退職（管

理官兼生安企画課長）伊藤健次
静岡県警人事（3月17日）保安課長（業務統括官兼生安企画課長長監察課兼務）大石順二▽大仁署長（保安課長）今泉雅宏

沖縄県警人事（3月17日）警務部付・退職（生安部長）波平明▽生活安全部長（参事官兼生安企画課長）前泊良昌▽生活安全全部参事官兼生活安全企画課長（地域課長）砂川道男

福島県警人事（5月16日）生活環境課長（いわき中央副署長）渡部祐治

DATA SPOT

業界の低迷、固定化が続いている

全日遊連は6月27日、店舗数、遊技機台数の2011年5月分を発表した。店舗数は前年に比べて相変わらず大幅な減、マイナス262店舗となっている。大震災から立ち直るには時間がかかりそうだ。

遊技機では、パチンコ機が昨年5月に比べて5万7697台減り（10年5月294万4960台）、パチスロ機が3万5212台（昨年125万5851台）の増加となっている。業界の傾向が固定化したまま推移している。＜注＞店舗数および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	204	+2
東北	485	+3
東京	443	+5
関東	1272	-2
中部	372	+10
近畿	609	+6
中国	230	+3
四国	111	+2
九州	557	0
全国計	4283	+68

（2011年5月31日現在）

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成23年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	11,524	18	22	89 (18)	2,931,322	1,281,903	156	4,213,381
2月	11,496	9	24	99 (19)	2,925,109	1,282,441	156	4,207,706
3月	11,369	7	36	192 (104)	2,893,024	1,280,067	156	4,173,247
4月	11,349	35	30	207 (74)	2,885,488	1,288,245	156	4,173,889
5月	11,347	4	25	184 (5)	2,887,263	1,291,063	156	4,178,482